

2015年以降の世界の開発課題のあり方を考える
シリーズ第5弾 シンポジウム「ポストMDGsの今が分かる！」

三好 皆さま、こんにちは。これより、Beyond MDGs Japan、アフリカ日本協議会主催、国連広報センター後援、シンポジウム『ポストMDGsの今が分かる！』を開催致します。

総合司会を務めます、日本国際保健医療学会の三好と申します。よろしくお願ひ致します。

本シンポジウムは、ポストMDGsに関するシンポジウムの第5弾に当たるものでありまして、今回は外務省より、国際協力60周年記念事業としての認定も受けております。開会に先立ちまして、国際協力NGOセンター理事長の大橋正明さんより、ごあいさつをお願いしたいと思います。では、よろしくお願ひ致します。

開会挨拶：国際協力NGOセンター理事長：大橋正明

皆さん、今日はお越しくださいまして、有り難うございます。Beyond MDGsというのは特に代表者が居るわけではありませんが、誰かが代表してご説明した方が良いという事で、構成団体の一つ国際協力NGOセンター（JANIC）の代表として冒頭にご挨拶することになりました。余談ですが、私は国際開発学会社会連携委員会としても、このBeyond MDGs Japanという組織に参加をしております。Beyond MDGsの参加団体には、『動く→動かす』、『環境パートナーシップ会議』、『国際開発学会』、『社会連携委員会』等、環境、障害、ジェンダーといったいろんな分野の5つのNGOと、国際開発学会と、日本国際保健医療学会の二つの学会、それから、JICAと国際医療研究センターという二つの政府機関が参加しております。非常にユニークな組み合わせでもって、このBeyond MDGs Japanをもう2年前からやっており、今回が5回目の大きな公開イベントになります。

国際的にも、Beyond2015という場があり、そこに世界中の市民が、『2015年以降の世界はこうあって欲しい』、『世界の目標をこうしたい』という意見を言う場があります。私達も日本で、日本国民の意見をウェブ上で示せるバーチャルな空間を作っていこうじゃないということを目指して、このユニークな試みを始めました。

しかも、もともと2014年中には次の後継が決まるだろうと思ったものが、1年延びて、2015年にならないと決まらないという事で、私たちも体制を組み直して続けています。

現行のMDGs、ミレニアム開発目標が来年には目標年に達するわけですが、指標の達成具合も、最後まで関心を寄せる必要があります。また同時にその後継枠組み、まだ名前が最終的に決まったわけではないですが、おそらくSDGsという形になっていくのだろうと思います。このSDGsのドラフトの土台になるような物が出てきているので、その事について、最新の情報を皆さんと共有しながら、話し合う機会を持つ事が、今日のイベントの趣旨でございます。

この他、皆さんご存じだと思いますが、日本のODA大綱が見直されて開発協力大綱にす

るとうことで、現在外務省が各省庁と話し合っており、間もなくその政府原案が出てくる事になっております。それから、MDGs や SDGs に比べると関心は低いのですが、来年 3 月に開かれる第 3 回国連防災世界会議で採択される予定の、今後 10 年か、20 年の世界の防災行動枠組み、仮に H F A - 2 と呼んでいます、いよいよそのドラフトが出来て、議論が始まっている最中です。

ですからこの場は、私達が暮らす地球の幾つかの重要な運命を決めるようなグローバルな枠組みについて、議論が交わされる機会があり、そこに皆さんが参加されているという事ではないかと思っております。

今日の第 1 部では、安倍総理大臣もいらっしゃいました 9 月の国連総会に、実際参加された外務省の大菅参事官、それから、NGO 仲間の稲場さんと星野さんからご報告を聞いた後、質疑応答を受けたいと思います。その後、国、企業、研究、学生、障害、ジェンダー、環境と色々なお立場又は様々な視点から、改めて 2015 以降の世界のあり方に対して、どういふ視点を持つべきなのかという事をご発言いただき、最後に 30 分～40 分、フロアの皆さんと議論をするというスケジュールになっております。

同時に、今日は隣の日比谷公園で、JANIC と外務省と JICA が共催するグローバル・フェスタも開催されており、ここには AKB もオープニングセレモニーに参加してくださる等、今や、官と NGO だけじゃなくて、芸能界まで私たちを応援してくれています。ということですので、ぜひ皆さんと一緒にこの場で議論を盛り上げていきたいと思っております。どうも有り難うございました。

(開会挨拶／了)